

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	北陸財務局長
【提出日】	平成25年11月12日
【四半期会計期間】	第35期第2四半期（自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日）
【会社名】	福井コンピュータホールディングス株式会社
【英訳名】	Fukui Computer Holdings, Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 蒔野 勝
【本店の所在の場所】	福井県福井市高木中央1丁目2501番地
【電話番号】	0776(53)9200(代表)
【事務連絡者氏名】	経理部長 生田 晴来
【最寄りの連絡場所】	福井県福井市高木中央1丁目2501番地
【電話番号】	0776(53)9200(代表)
【事務連絡者氏名】	経理部長 生田 晴来
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第34期 第2四半期連結 累計期間	第35期 第2四半期連結 累計期間	第34期
会計期間	自平成24年4月1日 至平成24年9月30日	自平成25年4月1日 至平成25年9月30日	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
売上高(百万円)	3,471	4,062	7,570
経常利益(百万円)	509	896	1,287
四半期(当期)純利益(百万円)	315	581	798
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	320	680	999
純資産額(百万円)	6,266	7,396	6,945
総資産額(百万円)	8,606	10,146	10,166
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	27.49	50.59	69.49
潜在株式調整後1株当たり四半期(当 期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	72.6	72.7	68.1
営業活動による キャッシュ・フロー(百万円)	608	391	1,137
投資活動による キャッシュ・フロー(百万円)	251	68	363
財務活動による キャッシュ・フロー(百万円)	228	228	229
現金及び現金同等物の四半期末(期末) 残高(百万円)	2,610	3,259	3,028

回次	第34期 第2四半期連結会計期間	第35期 第2四半期連結会計期間
会計期間	自平成24年7月1日 至平成24年9月30日	自平成25年7月1日 至平成25年9月30日
1株当たり四半期純利益金額(円)	16.50	27.88

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社及び当社の関係会社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社の異動は以下のとおりであります。

(建築CAD事業及び測量土木CAD事業)

当第2四半期連結会計期間より、当社グループのサポートサービスを向上させるため、サポートサービスに特化した子会社「福井コンピュータスマート株式会社」を新規設立し、連結の範囲に含めております。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社、連結子会社及び持分法適用会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当社グループ（当社、連結子会社及び持分法適用会社）における当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高4,062百万円（前年同期比17.0%増）、営業利益874百万円（前年同期比77.2%増）、経常利益896百万円（前年同期比75.9%増）、四半期純利益581百万円（前年同期比84.0%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

建築CAD事業

住宅ローンの低金利や消費税増税前の駆け込み需要による住宅着工戸数の高水準での伸びが追い風となり、主力商品の「ARCHITREND Z」の新規販売・オプション販売とも堅調に推移しております。また、既に発表しております10月発売予定の「パッシブデザイン機能」（次世代省エネ基準に対するシミュレーション）が、地域ビルダー・設計事務所から高い評価を頂いており、旧システムからのバージョンアップ・保守加入も例年になく伸びを見せております。この結果、建築CAD事業の売上高は2,083百万円（前年同期比10.9%増）、営業利益は363百万円（前年同期比49.7%増）となりました。

測量土木CAD事業

測量CADソフトウェアについては、7月にリリースした「BLUETREND XA 2014」は、WindowsXPサポート終了に伴うシステムのバージョンアップ需要が好調に推移しました。また、同時にリリースされた現場端末システム「XYCLONE」の現場観測効率化が評価され、追加導入が進みました。この結果、全国的に新規売上、既存売上は共に伸長しました。

土木CADソフトウェアについては、国交省が推進する情報化施工において、平成25年度から一般化されたTS出来形への対応を支援する、三次元設計データ作成プログラムの販売が好調に推移し、主力商品「EX-TREND武蔵2013」の新規、既存売上は共に伸長しました。

この結果、測量土木CAD事業の売上高は1,842百万円（前年同期比18.0%増）、営業利益は391百万円（前年同期比66.7%増）となりました。

ITソリューション事業

報道機関向け出口調査システム「ワンクリックカウンタ」、インターネット宿泊予約システム等により、売上高は135百万円（前年同期比328.7%増）、営業利益は47百万円（前年同四半期は営業損失12百万円）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、10,146百万円となり、前連結会計年度末より20百万円減少しました。主な要因は現金預金及び売上債権の減少及び投資有価証券の増加によるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」）は、前連結会計年度末より231百万円増加し3,259百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は、391百万円（前年同四半期は608百万円の獲得）となっております。主な要因としては、税金等調整前四半期純利益896百万円、法人税等の支払額561百万円の計上等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により得られた資金は、68百万円(前年同四半期は251百万円の使用)となっております。主な要因としましては、定期預金の払戻による収入600百万円、定期預金の預入による支出290百万円、有形固定資産の取得による支出86百万円及び投資有価証券の取得による支出99百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は、228百万円(前年同四半期は228百万円の使用)となっており、主に配当金の支払いによるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、405百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(6) 経営成績に重要な影響を与える要因についての分析

当社グループは、建築・測量・土木の各種CADソフトウェアの開発及び販売を主たる業務とし、またこれらのソフトウェアに関連する情報機器の販売も行っております。建築CAD事業及び測量土木CAD事業の販売実績の合計は、当第2四半期連結累計期間における総販売実績の96.7%を占めております。このことにより、当社グループの経営成績は建設業界の動向に影響を受ける可能性があります。

当社グループといたしましては、これらの状況を踏まえて、従来のユーザーの顧客満足度向上に邁進し、そのニーズを新商品にフィードバックさせることで、さらにユーザーニーズに合致した高付加価値商品を生み出すことが可能になるものと考えております。今後は、これまでのユーザーを大切にしつつ、新規顧客の囲い込みに取り組んで参ります。そのためには、経営理念やステークホルダー共存共栄の精神を順守しつつ、アライアンス戦略にも積極的に取り組む所存です。

(7) 資本の財源及び資金の流動性についての分析

当社グループにおける資金使途としましては、主たる事業がソフトウェア関連であることから、ロイヤリティの支払い、開発部門の人件費が中心となる研究開発費、販売費及び一般管理費、配当金や税金の支払いなどとなっております。また、将来的な資金需要としましては、現在の主たる事業の拡大や新規事業への参入などが具体化した場合に新たな資金需要の発生が予測され、これらの資金需要が生じた場合、内部資金で手当てし、必要な場合には、銀行の借入により資金調達を行うこととしております。

自己株式取得につきましては、経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を可能にするため、必要と判断した場合、市場環境、当社の財政状態を鑑みながら行っていきます。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	30,000,000
計	30,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数 (株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年11月12日)	上場金融商品取引所名又は 登録認可金融商品取引 業協会名	内容
普通株式	11,500,000	11,500,000	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数 100株
計	11,500,000	11,500,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (千株)	発行済株式総 数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金増 減額 (百万円)	資本準備金残 高(百万円)
平成25年7月1日～ 平成25年9月30日	-	11,500	-	1,631	-	1,500

(6) 【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
株式会社アセットマネジメント	愛知県名古屋市中区主税町4-85	4,873	42.37
株式会社LIXIL	東京都江東区大島2-1-1	3,193	27.77
福井コンピュータ従業員持株会	福井県福井市高木中央1-2501	227	1.98
谷 隆盛	福井県福井市	96	0.83
小林 徳也	福井県敦賀市	76	0.66
日本マスタートラスト信託銀行株式 会社(信託口)	東京都港区浜松町2-11-3	63	0.54
金牧 哲夫	福井県福井市	61	0.53
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1-8-11	60	0.52
井口 民子	神奈川県横浜市港南区	54	0.47
小森 吉晴	福井県福井市	53	0.46
計	-	8,759	76.17

(注) 1. 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)の所有株式数のうち、信託業務に係る株式数は63千株であります。

2. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)の所有株式数のうち、信託業務に係る株式数は60千株であります。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 12,100	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 11,484,500	114,845	-
単元未満株式	普通株式 3,400	-	1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	11,500,000	-	-
総株主の議決権	-	114,845	-

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
福井コンピュータホールディングス株式会社	福井県福井市高木中央1丁目2501番地	12,100	-	12,100	0.10
計	-	12,100	-	12,100	0.10

2【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりであります。

役職の異動

新役名	新職名	旧役名	旧職名	氏名	異動年月日
取締役	-	取締役	経理部長	林 治克	平成25年7月1日

(注) 取締役 林 治克は、当社の子会社であります福井コンピュータアーキテクト株式会社の代表取締役社長を兼務しております。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,778	3,699
受取手形及び売掛金	1,598	1,519
商品及び製品	17	27
仕掛品	1	26
原材料及び貯蔵品	15	11
繰延税金資産	300	222
その他	190	94
貸倒引当金	6	4
流動資産合計	5,895	5,596
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,616	1,639
土地	1,122	1,122
その他(純額)	66	64
有形固定資産合計	2,806	2,827
無形固定資産		
のれん	21	15
その他	127	127
無形固定資産合計	148	142
投資その他の資産		
投資有価証券	850	1,099
繰延税金資産	23	49
その他	455	444
貸倒引当金	13	13
投資その他の資産合計	1,316	1,579
固定資産合計	4,271	4,549
資産合計	10,166	10,146

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	36	52
未払法人税等	567	266
前受金	1,270	1,420
賞与引当金	260	248
役員賞与引当金	40	20
その他	976	616
流動負債合計	3,151	2,624
固定負債		
長期未払金	3	3
その他	65	120
固定負債合計	69	124
負債合計	3,221	2,749
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,631	1,631
資本剰余金	2,095	2,095
利益剰余金	3,017	3,368
自己株式	5	5
株主資本合計	6,739	7,091
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	185	283
その他の包括利益累計額合計	185	283
少数株主持分	20	22
純資産合計	6,945	7,396
負債純資産合計	10,166	10,146

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	3,471	4,062
売上原価	669	906
売上総利益	2,802	3,155
販売費及び一般管理費	¹ 2,308	¹ 2,280
営業利益	493	874
営業外収益		
受取配当金	5	8
受取手数料	5	4
その他	5	8
営業外収益合計	16	22
営業外費用		
為替差損	0	-
営業外費用合計	0	-
経常利益	509	896
税金等調整前四半期純利益	509	896
法人税、住民税及び事業税	165	260
法人税等調整額	27	53
法人税等合計	193	313
少数株主損益調整前四半期純利益	316	582
少数株主利益	0	1
四半期純利益	315	581

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	316	582
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3	97
その他の包括利益合計	3	97
四半期包括利益	320	680
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	319	679
少数株主に係る四半期包括利益	0	1

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	509	896
減価償却費	85	139
賞与引当金の増減額(は減少)	16	11
役員賞与引当金の増減額(は減少)	22	19
売上債権の増減額(は増加)	472	79
たな卸資産の増減額(は増加)	8	31
前受金の増減額(は減少)	78	150
その他	217	258
小計	899	943
利息及び配当金の受取額	6	9
法人税等の支払額	296	561
営業活動によるキャッシュ・フロー	608	391
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	530	290
定期預金の払戻による収入	480	600
有形固定資産の取得による支出	20	86
無形固定資産の取得による支出	67	65
投資有価証券の取得による支出	-	99
投資有価証券の売却による収入	5	2
保険積立金の積立による支出	117	-
その他	2	8
投資活動によるキャッシュ・フロー	251	68
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	-	0
配当金の支払額	228	228
財務活動によるキャッシュ・フロー	228	228
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	127	231
現金及び現金同等物の期首残高	2,482	3,028
現金及び現金同等物の四半期末残高	¹ 2,610	¹ 3,259

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結の範囲の重要な変更

当第2四半期連結会計期間より、福井コンピュータスマート株式会社を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(四半期連結貸借対照表関係)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

1. 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
給料手当	771百万円	737百万円
賞与引当金繰入額	132	151
研究開発費	376	405

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
現金及び預金勘定	3,300百万円	3,699百万円
預入期間が3か月を超える定期預金等	690	440
現金及び現金同等物	2,610	3,259

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月22日 定時株主総会	普通株式	229	20.00	平成24年3月31日	平成24年6月25日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月21日 定時株主総会	普通株式	229	20.00	平成25年3月31日	平成25年6月24日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	建築CAD 事業	測量土木 CAD事 業	ITソリュー ション 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,878	1,562	31	3,471	-	3,471
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	1,878	1,562	31	3,471	-	3,471
セグメント利益又は損失 ()	242	235	12	465	28	493

(注)1. セグメント利益の調整額28百万円は、グループ会社からの経営管理料等及びグループ管理に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	建築CAD 事業	測量土木 CAD事 業	ITソリュー ション 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,083	1,842	135	4,062	-	4,062
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	2,083	1,842	135	4,062	-	4,062
セグメント利益	363	391	47	803	71	874

(注)1. セグメント利益の調整額71百万円は、グループ会社からの経営管理料等及びグループ管理に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第3四半期連結会計期間より、「その他」の区分に含まれていた「ITソリューション事業」について、重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	27円49銭	50円59銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	315	581
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	315	581
普通株式の期中平均株式数(千株)	11,488	11,487

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月6日

福井コンピュータホールディングス株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 由水雅人 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 中村剛 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている福井コンピュータホールディングス株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、福井コンピュータホールディングス株式会社及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。